



2020年1月10日

各位

会社名 株式会社 キャリア
代表者名 代表取締役会長兼社長 川嶋 一郎
(コード：6198 東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート
ディビジョンマネージャー 羽鳥 雅之
(TEL. 03-6863-9450)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、2019年12月27日付で提出した2019年9月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効ではない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、連結財務諸表及び財務諸表の注記の作成に必要な各種基礎資料が当初のスケジュール通りに作成できず、注記及び基礎資料の複数箇所の修正について監査人から指摘を受けました。

また、以下につき、2019年12月9日付で株主に送付した「第11回定時株主総会招集ご通知」と独立監査人による監査済の計算書類との不一致があるとの指摘を受けました。

- ・「第11回定時株主総会招集ご通知」の計算書類の個別注記表に、重要な後発事象の注記がなされている。
- ・「第11回定時株主総会招集ご通知」の連結計算書類に係る独立監査人の監査報告書の文言が原本と一部異なっている。

本件の原因としては、開示書類作成のために必要かつ十分な専門知識を有した社内の人材が不足していること、及び開示書類作成に関して社内のチェック体制が不十分であったため、内部統制が適切に整備及び運用できていなかったことによるものであります。

上記の評価の結果、財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

上記の財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備が、当事業年度の末日までに是正されなかった理由は、上記の誤りが事業年度末日後に発生した事象であり、有価証券報告書の監査の過程で発見されたためであります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を十分に認識しており、再発防止策として、開示書類作成のために必要かつ十分な知識を有した人材を増員配置するとともに、記載内容のチェック体制を強化すること等により、改善に取り組んでまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

当社は上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、適切に修正をしており、当事業年度の連結財務諸表等に与える影響はございません。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見です。

以 上